

令和元年

目黒区教育委員会

第20回定例会会議録

(令和元年6月4日開催)

第20回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年6月4日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	令和元年度児童生徒数・学級数について
日程第2	報告事項	平成30年度目黒区立学校における体罰等の実態把握調査の結果について
日程第3	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

資料配布

- ・角田市自然宿泊体験（募集案内）

(午前9時30分開会)

○教育長 令和元年第20回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、後藤委員です。

冒頭ではありますけれども、先週28日に川崎市多摩区において、小学生を含む20名の殺傷事件が発生し、小学校6年生女兒を含む2名の方がお亡くなりになりました。心よりお悔やみ申し上げるとともに、二度とこのようなことが起こらないよう切に願っているところでございます。

教育委員会事務局におきましても、この事件を決して対岸の火事として見るのではなく、同日付で各学校長、園長宛てに登下校時等における安全指導及び安全確認等の徹底について、文書をもって注意喚起を促すとともに、不審者への注意喚起と、身の危険を感じた場合の連絡について、見守りメールを送信したところでございます。

また、去る5月8日には滋賀県大津市で、園外保育に向かう保育園児が自動車事故の巻き添えとなり、2名の園児が亡くなるという大変痛ましい事件も発生しています。これにつきましても幼稚園、こども園長等宛てに引率のあり方、あるいは危険箇所等の把握状況の報告をお願いをしているところでございます。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和元年度児童生徒数・学級数について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○教育長 児童の増加数については、東京都の教育人口等推計とほぼ同様の数値になっていますので、この推計どおりいくと今後まだ1,000人余、児童が増えるということで、普通教室の数の確保が大きな課題となります。

また、中学校の統合にどのような影響があるかについては、今後見極めていく必要があると思っております。

それから、小学校の区立在籍率ですけれども、今後、推移を見る必要があると思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年度目黒区立学校における体罰等の実態把握調査の結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 平成27年度から平成30年度まで体罰がなかったということは何よりだと思います。それで、1点伺いたいのですが、3ページの平成30年度における不適切な指導2件と暴言等1件ですが、この事実を学校が把握したきっかけを教えてください。
- 説明員 こちらにつきましては、児童・生徒に対してアンケート調査を行った結果、アンケート調査にその記載があったため、学校が把握したものでございます。
- 委員 そうすると、この不適切な指導が行われてからアンケート調査で発覚するまでに、ある程度の期間があったということになります。本来は、もしこういうことがあったら、それを見ていた児童や指導を受けた生徒がほかの先生に伝えるなどしていかないとタイムラグが生じてしまうので、その辺も気を配っていただけるとありがたいと思います。
- 説明員 アンケート調査により事態を把握することも大切ですが、児童・生徒から直接報告を受けることが、原則だと思います。  
A小学校の不適切な指導につきましては、アンケート調査による記載のほかに、当日にも担任から報告があったということですので、担任が体罰等の事実を管理職に必ず報告する体制を整えていきたいと思います。
- 委員 先ほどの質問に重なるのですが、この不適切な指導2件と暴言等1件は、いずれもアンケート調査により把握した事案でしょうか。  
それから、アンケート用紙が参考についているといいと思います。
- 説明員 先ほど、全ての事案をアンケート調査の回答により把握したかのように発言をいたしました。このうち、2件目のA小学校における暴言等の事案のみがアンケート調査で把握したものでございます。1件目のA小学校における不適切な指導の事案につきま

しては、先ほど申し上げたように当日、担任からの報告により把握し、3件目のB中学校における不適切な指導の事案につきましては、校長が現場で視認し、把握したものでございます。

また、アンケート用紙につきましては、以前ご報告させていただきました目黒区体罰根絶マニュアルにアンケートの内容がございいますので、ただ今回覧させていただきます。

(資料回覧)

○委員 今、アンケートを拝見しましたところ、記名式のものとなっていました。自分の立場を悪くするおそれがあるため、記名式だと書けないこともあると思うので、その点を認識していただき、取り組むようお願いいたします。これは要望です。

○委員 3ページの報告の内容についてですが、このような問題では、事実関係を正確に把握し、それを関係者で共有することが重要だと考えます。例えば、資料の概要に頬を1回軽くつかむというような行為について記載がありますが、この行為を誰が確認したかの記述はありません。確認した者によって、この行為の記載の仕方が変わるおそれがあります。そのため、学校から事務局への報告や教育委員会での報告では、事実関係を正確に把握できるような内容になるよう報告書の記述の仕方を指導されることを希望します。

○説明員 この種の案件につきましては、事実関係を確認することが大事であると事務局でも認識しております。目黒区の体罰根絶マニュアルの中にも報告書の記載例を示してございまして、その中では体罰を加えた教師や体罰を受けた生徒への調査だけでなく、目撃者などの関係者にも調査をして、報告書にまとめることとしております。

例えば、今回のA小学校の暴言等につきましても、不適切な指導をした教員だけでなく、不適切な指導を受けた児童にも聞き取りを行って報告をいただいております。また、目撃した児童もおりましたので、その児童からも状況を聞きまして、校長の見解も含めまして報告をいただいているところでございます。この報告を基に、事務局でもどのような措置をしたらいいのかを検討しまして、このような形で報告をいたしました。

なお、この資料は概要であるため、詳しい調査結果を付けてございませんが、事務局では事実関係を把握をしているところでございます。

